



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
と  
ツムぐ学生

第34号

2017年8月9日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

## 夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.13

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、  
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

## 教育長先生との話の中で



東浦町教育長の恒川先生が、前半のわくわく算数・数学を、2日間とも見に来てくださいました。そして、多くの方と意見交換をされていました。

恒川先生は、こんな話をしてくださいました。

- ・ 普段の授業では、担任の先生は1対1の関係で教えることは難しい。ここでは、1対1で、しっかり教える、教わることができる。
- ・ 中学生もとても熱心にやっている。中学生と小学生では、SPさんの関わり方も違う。距離感も違う。それをきちんと考え調整してやってくれている。中学生はべったりではいけない。少し距離を置き、見守ることも大事。はしゃぐ必要もない。とてもよい雰囲気でも学習に取り組んでいる。
- ・ 一番よいのは、SPさんが子どもたちにしっかり関心を寄せていること。子どもたちもとてもうれしいと思う。関わってくれることで「自分のことを見てくれている」と思うことができ、やる気にもなる。
- ・ こういうよいことが、どんどん広がっていくことが何よりすばらしい。昨年までは片葩小だけだったが、石浜西小そして東浦中へと、どんどん広がる。このホールも、とてもよい雰囲気を作り出している。
- ・ 一番は、SPさんがこうして東浦に集まってくれること。これほどの人数を、これほどの質の高い大学生が集まってくれる。これがこの事業の成功の一番の要因。本当にありがたいこと。